

月刊きょうと教育通信

Vol. 25 平成17年1月号 発行:京都市教育委員会企画課(222-3768)

京都市教育委員会のHPは<http://www.edu.city.kyoto.jp/>でご覧いただけます。広報資料は毎日更新しています。

おめでとう! ありがとう!

京都市成人の日記念式典 過去最高!新成人9,039人が出席

1月10日の成人の日、京都市勧業館(みやこめっせ)で平成17年京都市成人の日記念式典を開催。新成人の51.6%、計9,039人が参加し、率・人数とも過去最高となりました。

当日、「1/2成人式」の一環として、小学4年生の児童が150名以上参加し、式典をお手伝い。子どもたちが記念冊子を手渡し、「おめでとうございます!」と声をかけると、受け取った新成人から「ありがとう!」と声が返され、元気溢れる爽やかな声が会場に響き渡りました。

式典では、「思いやりの心で多くの人が輝く社会を創ってほしい。」との榎本頼兼市長の式辞や、新成人代表が胸の内の決意を堂々と語った「二十歳の誓い」など、厳粛な中にも温かみのあるものとなりました。



榎本市長を前に、新成人代表が堂々と「二十歳の誓い」を述べ、会場は感動に包まれた

また、過去に仕事の事情等で成人式に参加できなかったという方々も「思い出成人式」として式典に出席。22歳から67歳の9人があらためて大人になったけじめをつけました。

なお、式典は、昨年度に引き続きインターネット中継を行い、休日の家族連れで賑う新風館でその様子を放映するなど、多くの方々に新成人の晴れ姿を御覧いただきました。

ご意見・お問合せ = 社会教育課(222 - 3800)

~ 学校歴史博物館 ~

うえむらあつし

新館長に上村淳之氏が就任

平成10年11月の当博物館開館以来、6年間余の長きにわたり館長を勤められた京都大学名誉教授の上田正昭氏の後任に、17年1月1日付けで前京都市立芸術大学副学長の上村淳之氏が就任。



上村新館長は、昭和8年に日本画家の上村松篁氏の長男(女性初文化勲章受章者の上村松園氏の孫)として生まれ、京都市立美術大学美術専攻科日本画専攻修了後、日本画家、京都市立芸術大学教員として活躍。現在も、松柏美術館長、日本芸術院会員等の重責を担う日本の芸術・文化振興の第一人者です。

12月16日に行われた辞令式では、「これまでの知識・経験を活かし、学校所蔵の歴史資料や美術工芸品によって、明治以降の先人たちが教育や人づくりにかけた情熱を後世に伝えたい。」と述べられました。

ご意見・お問合せ = 学校歴史博物館(344-1305)

《今月の主なできごと》

- 4日 仕事始め。榎本市長が本市職員に「先見(先を見通す)、先進(先へ進む)、先導(先へ導く)、先んじて時代を創ろう」と年頭訓示。
- 9日 少年合唱団第45回修了演奏会。胸に響く演奏に満員の観客も感動! 今回を最後に中学3年生31名が卒団。
- 12日 第46回幼稚園こども展。絵画、製作、写真、ビデオ等で園児の生活や遊びの様子を一挙紹介。(～17日、於:こどもみらい館)
- 14日 子どもたちのインターネット等の「活用指針」検討プロジェクトから門川教育長に、情報モラル年間指導計画・指導(案)等を内容とした報告書を提出。
- 22日 企画展「みて、きいて、楽しかった教具展」～子どもたちが目を輝かせた視覚教材・教具のいろいろ～スタート。(～4/19まで、於:学校歴史博物館)
- 23日 小学生持久走記録会。京北町立校も参加し、6年生児童が鴨川沿い1.7kmを疾走。
- 28日 学校広報紙展示会。全校と京北町立4校を合わせた約280点を市内大型商店、主要駅通路等に展示。(～2/10まで)

全国初の大会が京都で開催!!

小学校英語活動の全国ネットワーク構築を目指して

第1回全国小学校英語活動実践研究大会

12月10日、全国で初めて「全国小学校英語活動実践研究大会」が開催。西陣中央、洛央、第四錦林の3小学校での公開授業や総合教育センターでの全体会及び分科会が行われました。

この大会は、全国に先駆けて小学校英語活動の全校実施や指導計画の策定を行った京都市において、日本各地の小学校や自治体で取り組まれている英語活動の実践発表や成果の相互交流・情報交換を通して、小学校英語を推進する教職員の全国ネットワークを確立することを目的に開催されたものです。

大会当日は、40都道府県から約750名の参加があり、公開授業では、熱心にメモを取ったりビデオ収録する教員の姿が見られました。

全体会では、本大会の実行委員長でもある坂野治利京都市小学校英語活動研究会会長から、



教室から溢れ出る程多くの参加者が公開授業を見学

この大会を契機に、小学校英語活動を担い、積極的な取組を推進する教員の全国組織として、「全国小学校英語活動研究会」の設立が宣言されました。

分科会では、京都市をはじめ、金沢市、大牟田市、成田市などから12件の実践報告が行われました。参加者からは、「教科書もない中、多くの先生が自分の語学力や教材、カリキュラムに悩みながらも、子どもたちのために熱心に取り組む姿に励まされた。」との感想が聞かれ、今後の全国組織の発展が大いに期待されます。

ご意見・お問合せ＝

総合教育センター(371-2341)

～マンガミュージアム構想～ 記念フォーラムを開催

12月19日、「京都国際マンガミュージアム構想(仮称)」策定記念フォーラムを、平成18年秋に同ミュージアムを設置する元龍池小(中京区烏丸通御池上)で開催しました。

このフォーラムは京都市と日本唯一のマンガ学科を有する京都精華大学が共同で実施。龍池自治連合会の谷岡英治会長等の挨拶に続き、基調講演「芸術文化としてのマンガ」では、河合隼雄文化庁長官が、臨床心理学の視点を交えてマンガの国際性・将来性を指摘されました。

また、パネル・ディスカッション「京都から発信するマンガ文化」では、会場を埋め尽くした満員の参加者に対し、パネリストらが自らのマンガ体験に触れながら、マンガ発祥の地であり国際文化観光都市である京都に設置するマンガミュージアムへの期待を語りました。

ご意見・お問合せ＝企画課(222-3768)

フォーラムでは、参加者が京都のマンガ文化の奥深さを改めて実感しました



子どもたちの思い 被災地へ届け! 救援支援募金を梶本市長へ託す

各学校・園で昨年11月から12月にかけて取り組まれた京都府北部・新潟中越地方救援支援募金。各学校・園の子どもたち、保護者による募金活動等により集められた1,683万4,413円もの募金が、12月27日、梶本頼兼市長に託されました。

当日は、小・中・高・総合養護学校の児童・生徒、PTA等の方々が京都市役所を訪問。各校の子どもたちから、今なお不便な生活を強いられている被災地の復興への熱い思いを胸に、目録や通帳、募金名簿を梶本市長に手渡しました。これを受け、市長は、「各学校・幼稚園でこれほどの取組は全国的にも珍しい。147万京都市民の誇り。」と感謝の言葉を述べました。

この募金は、後日、各学校・園の希望により、833万2,544円が京都府北部、850万1,869円が新潟県中越地方の被災自治体に届けられました。

ご意見・お問合せ＝学校指導課(222-3806)



梶本市長へ目録等を手渡す子どもたち